



野球部の活躍・・・ベスト16進出を果たす

7月5日（土）に夏の全国高校野球選手権長野大会が開幕し、本校野球部が2回戦から登場して、熱い戦いを繰り広げました。

今年のチーム 昨年の秋季北信越高校野球長野県大会南信予選を4位で通過し、県大会出場の切符を手にしました。2019年春（南信2位）以来、11季ぶりです。県大会では1回戦をコールドで突破してベスト16に進出しましたが、優勝校に2回戦で惜敗しました。冬場を越えた今春、選手13名、マネージャー1名の新入部員を迎え、総勢29名で日々の練習や練習試合等に取り組んできました。春季北信越高校野球長野県大会の南信予選では、代表決定戦で敗れ県大会に出場することはできませんでした。

2回戦 しんきん諏訪湖スタジアムで迎えた初戦、幸先よく2回に3点を先制しました。本校主戦投手は自チームを上回る安打数を許しながらも、凡打を量産して要所を締める粘投。そして、2点リードの8回表、1死2・3塁のピンチを無失点でしのぐと、その裏、真逆の好機に自らのバットで追加点を弾き出し、6-1で勝利しました。2021年以来の初戦突破となり、校歌が球場に響きました。

3回戦 休日ということもありスタンドには多くの観戦者に足を運んでいただき、選手の担任の先生も応援に駆けつけていました。試合は2-2の同点で迎えた7回裏、1死満塁の好機に主軸打者が初球をとらえ、左中間に2塁打を放つと、これが走者一掃の決勝打となりました。今回も終盤の集中力を発揮し、8-3で勝利しました。

4回戦 対戦相手の高校とは旧女子校という共通点があります。夏の大会はこれまで2勝1敗の戦績でした（1995年：2回戦6-5、2002年：1回戦7-6、2017年：1回戦1-4）。試合は、相手投手に長打2本を含む散発6安打に抑え込まれ、打線をつなげることができませんでした。本校主戦投手は3連投ながら緩急をつけた制球力の良さを発揮しましたが、5回につかまって一挙3点を失い、これが決勝点となってしまいました。結果は1-4で敗れ、3年生にとっての夏が終わりました。

夢の区切り この間、応援をいただいた方々には心より感謝申し上げます。また、生徒には夢を見させてもらったことにお礼を言いたいと思います。野球に限らず、高校生など学生が取り組む課外活動は、必ず引退する時期が訪れます。その限られた期間の中で一生懸命に取り組むことに大きな価値があります。ひた向きな姿に多くの感動を与えられました。



2回戦 守備



2回戦 スコアボード



2回戦 校歌



3回戦 応援席